

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	環境浄化のつどい開催事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課				
施策	3-3	次代を担う青少年を育てる地域環境づくり			主管課長			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	環境浄化のつどい開催事業	意図	関連団体相互の協力の基に、地域住民に環境浄化を啓発することで、見守り体制を促進し、地域での環境浄化活動を推進する。
事業内容	関連団体相互の協力の基に、地域住民に環境浄化を啓発することで、見守り体制を促進し、地域での環境浄化活動を推進する。			
事業開始から現在までの状況変化	昭和55年度から流山市青少年社会環境浄化推進委員会及び同実行委員会を設置。昭和58年度に流山市青少年社会環境浄化推進月間（2月）を定め（平成24年度から12月に変更）、「つどい」を実施している。平成2年度から「つどい」に向けて、各機関・団体の代表者で組織される地区会議を開催。平成19年度に「全体のつどい」を実施後、平成25年度から市内7会場で実施している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	「つどい」参加人数	722	909	749	人
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		6,298,000	6,145,200	6,083,013			
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		6,298,000	6,145,200	6,083,013			
人役・職員(人)		0.80	0.80	0.80			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.40	0.40	0.40			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	地域の実態に応じて各支部ごとに計画を立て実施。	③取り組みの課題	会議の開催回数と開催場所、「つどい」の開催までの手立てに負担感を多く感じている。
②今年度(H26)に実施した取り組み	7会場実施。実行委員会の開催を各地区毎の計画に委ね実施。	④今後の改善計画	組織の簡素化（わかりやすさ）と負担感の軽減。